

木馬会会報(第7号)

高松宮杯特集

さあ夏競馬本番。皆さん競馬のほうはいかがですか。一休みの人も多いですが、たまのロ
ーカルもいいもんですよ。

～木馬たちの予走(高松宮杯編)～

予走者 T P

高松宮杯

◎…マーベラスクラウン ○…アイルトンシンボリ ▲…ナイスネイチャ

△…ウイニングチケット、スターバレーナ

…予走者の屁理屈…

ダービー馬Wチケットよりも堅実無比のMクラウンが軸。鞍上武も安心。対抗が休み明け
3走目のアイルトン。七夕賞2着と案外器用だし、鞍上岡部でぬかりはあるまい。天才対名
手の手綱比べ。単穴にそろそろじゃないかのNネイチャ。この相手なら2着があっても良い。
Wチケットが問題だが、この馬極端に好調な期間が短い。名調教師伊藤雄二もそれはわかっ
ているはず。目標は天皇賞。ここは80%の仕上げ。だからこそ柴田政が乗れないでも使って
くる。大きく崩れることさえあるだろう。Sバレーナはようやく実力馬が復調してきたと
いう感じだが、中京向きじゃない。

七夕賞

◎…ダンノーブル ○…フライングコラム ▲…システィーナ

△…シャマードシンボリ、ニフティダンサー、マイヨジョンヌ

前走あんな強引な競馬をしてフジヤマケンザンの2着したDノーブルが軸。3着とは6馬
身差あった。出走は微妙だが。対抗、単穴にはエブソムCで好走した2頭。ほぼこの3頭で
決まり。△にはちょっと魅力がない。出走馬が10頭を越えたらMジョンヌは要らない。

大雪ハンデ

マキノトウショウ、メイショウマサカド、レイクブルーの3頭で決まり。

さくらんぼS

オースミマックスかナイスガルボが出走してくればどちらかが軸だが、そうでなければウ
インドフィールズを狙ってみたい。対抗にはカネツクロス。単穴がシルクグレイッシュ。こ
れらもいまいちぱつとしない。△がハヤテミキコとビショップリング。あと面白いのが前走
うなるような勝ちっぷりを見せたラグビーカイザー。

～☆私の好きな開催ベスト5編～

第1位…4回中山 まず、天気がいい。大きなレースがないから空いている。久し振りに
馬を間近で見れる(馬の匂い、ひづめの音、芝生がふかふか絨毯、うっ
たまらん)の～んびり競馬を楽しめる。一年でこのときほど競馬がやれ
る嬉しさを実感できることはない。

第2位…5回中山 何と言っても有馬記念がある。地味だが中山大障害がある。個性的な
重賞レースが多い。師走の慌ただしい雰囲気が一年の終りを感じさせて
風流。込み合うがそれもまたよし。

第3位…2回新潟

これまた天気がいい。競馬場が綺麗。馬券売りが若くて可愛い子が多
い。海にも近いし、料理がうまい、酒がうまい。ちょっとした旅行気分
でいくには一番いいところ。

第4位…3回東京

基本的に東京競馬場は嫌い(もうけたためしが無い、遠い、休日まで
満員電車に乗りたくない、汚い、馬券が買いづらい)だが、ここはオー
クス、ダービーという競馬のお祭りがあり、それだけで心浮き浮き。

第5位…1回中山

何といっても年の初め。金杯をやらずして一年は始まらない。また年
によっては5日間で4日開催というとてもないスケジュールが組まれ
る。これでもかというほど凄い。金杯の日は平日でも何でもこんでいる
(実際今年の金杯は水曜日だったのに有馬記念のときより混んでいた)。
皆まだおとそ気分が抜け切らなくて、多分家で飲んできたのだろう、な
んとかく辺りが酒臭くて、その雰囲気の中、「皆好きなんだなぁ、今年
も頑張ろう！」と一体感が生まれるんだなぁこれが！

中日スポーツ賞でついに十万コースを体験してとても嬉しかったです。今度は二十万コー
スを目指します。今週は福島競馬へ行って参ります。七夕賞は一昨年の60倍を取ったことも
あり、げんのいいレースですので何とか勝って帰りたいです。さて次号は8/5 発行で関屋記
念特集とします。その頃には2歳馬の資料も届いていると思いますのでまた回覧致します。
また、他の記事として、「どのクラブのどの馬が何と言う名前で走り、結果はどうだったか、
その馬に印を押していたのはだれだったか 第二弾」、「T Pの3歳馬特集 第二弾」を予
定しております。

94 3歳馬特集 7月3日現在 3頭 牡2頭 牝1頭 関西馬2頭 関東馬1頭

△クラシックゴール牡西 豪快な走り。ダート向きかも。イレ込み。

▲ファッションショー牝西 ノーザンテースト産駒の牝馬の栗毛。走り方はバツリないが、タイムはいいし、オープン級にはいい。

△マイネルエナジー牡東 センスがいい。追ってしっかりしている。大跳びでダートは鬼か。

高松宮杯

…予想者の屁理屈…

今回の注目は何と言ってもWチケット。この馬の選択が大きな鍵を握っていると言える。結論から言えば、△の抑さえ評価が妥当であろう。それは、①秋からの始動予定が今回に変わったという臨戦過程②難しい馬であるためのテン乗りへの不安③GIホースが故の初の59キロを背負っての休み明け④真っ黒の馬であるため、最近の猛烈な暑さによる体調具合、など少なくとも4つの不安点があげられるため、現役の中では屈指の実力馬であることは認めても、信頼のおける軸馬にはなり得ない。そのほかの人気馬を見てみると、今回相当の人気になるであろうSバレーナは、前走の内容といい、ローテーションといい中心馬としては申し分ないのだが、今回の別定重量による56キロは男馬に混じってのものだけに不利とみて、多少評価を下げざるを得ないだろう。Nネイチャは、前走を見る限り7歳とという年齢もあって今までのように期待するのは無理のような気がする。が、2千というこの馬にとっての最高の距離から抑さえまで。さて、前回大変お世話になったAシンボリであるが、昨年の七夕賞で2着があるといっても今回の距離は短い。普通ならここであっさり消してしまうのだが今回は違う。何とあの神様岡部さまがこの馬のために中京にまで乗りにくるのである。中京のような小回りコースで、実力の伯仲したレースでは必ず騎手の腕で勝負が決まる。よってアイルトンが○。今回の高松宮杯、私の大本命はMクラウンである。なかなか勝てなかった重賞を前走勝った訳だが、こういう馬は得てして勝ち癖がついてどんどんいくものである。実力的にも、重賞成績(1402)とメンバーの中でも決して劣るものではなく、むしろ胸を張れる。中京(左回り)との相性も抜群で好位につけて鋭く差すという完璧な脚質も心強い。さらに鞍上が武豊とくれば鬼に金棒で、その豊がただいま絶好調とくれば自信の大本命と言い切れよう。ズバリ単だ。

という訳で、◎…Mクラウン ○…Aシンボリ △以下はアラシやIマイウエイといった余り人気にならないところのほうですが今回は面白いような気がする。それと外枠に入った馬にはいつも以上に厚めにいってみたい。いづれにしてもマーベラスクラウンの単賞で勝負だ。

七夕賞

七夕賞は、馬場さえ良ければフライングコラムが断然抜けて強い。相手は○にシステイーナ△にSシンボリとKシチーで、もう一頭Wディーンを抑さえれば完璧であろう。ただ、福島も最終週ということもあって馬場も悪くなってきており、さらに雨でも降るようなことがあれば印も変えなければならないことにもなるだろう。とは言っても印の順番を変えるだけであって、先に述べた4頭ないし5頭でおそらく決着はつくであろう。ここで新人の“危険だからこの馬にはを付けましょう”コーナーです。今回登場していただくのは、前走絶好の展開で勝って下さいと言わんばかりのレースを逃してしまったマイヨジョンヌさん。そして、前走好走したのもただ展開に恵まれただけで福島のまったく似合わないニフティードンサーさん。お二人とも今回多少の人気になるでしょうが余り期待しないほうがよろしいでしょう。最後に、システイーナは果たして道悪はうまいのでしょうか。ユタカオーの子供だけにどうかという心配が多少あるのです。誰か教えて下さい。

高松宮杯

…予想者の屁理屈…

前走私を信じたものはいないはずだが(私は信じたb y可愛い新人)私は己を信じている。今回こそ、インターが2着にくだむはず。ちょっとお金が欲しい方、信じるものは救われる。b yミスターX

良馬場で、ナイスからインター、スター、マーベラス、ヤマニン。やや重より悪化でナイスからアイルトン、マーベラス、アラシ。

七夕賞

一年に一度、織姫と彦星の出会いの時、これだと思ひニフティー、システイー(7/7=テイー/テイー)本線。

良馬場で、システイーナからフライングとニフティー、ウエスト。やや重より悪化でシステイーナからオースミポイントとフライング、シャマード。

以上

米村さんの予想です。時間がないとミスミセン。

高松宮杯

一見難解なレースとみられがちだが、これは比較的簡単なレースだ。

系統からWチケットの重賞のやりがいが、相手は中京コース得意な

Mクラウン。この一歩で勝負は、いって押さえる。

6枠にあって本格に気配のAシンボリ。

◎ Wチケット ○ Mクラウン △ Aシンボリ

七夕賞

毎年大荒れのレースは、今年もまた前評判に馬場(悪化)

なれない。本命は、福島コース得意のMジョンヌ。相手の

人気馬、カサハラシチー。福島コースの得意で、調子で

ばうじん。フライングコラム、システイーの押さえて、それよりニフティードンサー、ユタカオー。

◎ Mジョンヌ ○ カサハラシチー

▲ ユタカオー △ フライング △ システイー

大雪H

少人数の予想では、ニフティードンサー、マイトショウを消し

一歩で勝負は、おかしな得意のレフガールとトモエボニー、

◎ レフガール ○ トモエボニー